

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 愛燦会 )

事業所名 (特別養護老人ホーム長寿の里・十四山)

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		H u g T 1 (ハグ)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 7 日	1	令和元年 10 月 7 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>既に導入済のフロアのロボットも活用し、職員が事故なく操作が出来るよう導入業者による指導のもと、まずは職員同士でさまざまな利用者を想定して体験する。この体験を繰り返し行う事で職員が自信を持ち、理解し操作出来るようになり本格導入する。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者の無理な体勢による介護方法の減少や、小柄な職員が介助する際の身体的介護負担が軽減された事を実感したとの意見あり。</li> <li>・ロボットを使用する事で、トイレ介助時や移乗介助時に入居者から「安心できる」との声が聞かれる。</li> <li>・職員が異性の入居者を介助する際、どうしても身体を密着するので、不快に感じる事が多かったが、導入した事で不快に感じる事が軽減した。</li> <li>・ロボットを使用する事で、統一したケアを提供する事が出来るようになった。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人ふたば福祉会)  
 事業所名 (老人デイサービスセンターふたばデイサービスセンター)  
 サービス種別 (指定通所介護事業)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Edge	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月14日	1台	令和元年9月13日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。使用するのには主に介護職員だが、説明会には看護師や機能訓練指導員も参加した。説明会の翌日から導入した。</li> <li>・職員が気軽に使用できる場所に置き、入浴時やベッドから車椅子への移乗等の介助時に使用している。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員より体格がよく下半身に力が入らない方への移乗介助で、抱える動作の際にロボットが腰を補助してくれるため、腰部に係る負担が軽減された。</li> </ul> <p>利用者からも安心できるとの声があった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人ふたば福祉会)  
 事業所名 (特別養護老人ホームウィローふたば)  
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Edge	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月14日	2台	令和元年9月13日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。使用するのには主に介護職員だが、説明会には看護師や機能訓練指導員も参加した。説明会の翌日から導入した。</li> <li>・職員が気軽に使用できる場所に置き、入浴時やベッドから車椅子への移乗等の介助時に使用している。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員より体格がよく下半身に力が入らない方への移乗介助で、抱える動作の際にロボットが腰を補助してくれるため、腰部に係る負担が軽減された。 利用者からも安心できるとの声があった。</li> <li>・体格が利用者より小さい職員（特に女性）の負担軽減に役に立った。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 法人名(社会福祉法人 日進福祉会)

事業所名(特別養護老人ホーム 日進ホーム)

サービス種別(介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援ロボット		移乗サポートロボット Hug L1-01 (S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月1日	1台	令和元年11月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>11月20日に移乗機器を導入した。使用前に勉強会を行い、フロア職員に使用方法を実際に体験してもらい、職員同士で安全に使用できるように実施した。</p> <p>使用対象者は、下肢に力が入らないが、機器を掴む力がある方、脇を締めることができる方。12月に使用対象者を決定し、対象者を3名とした。使用の状況によって使用者を増やす予定。トイレでの排泄介助中心に使用している。</p> <p>12月 移乗介助に19回 排泄介助に53回 使用。</p> <p>1月 排泄介助に147回 使用。</p> <p>2月 移乗介助に8回 排泄介助に40回 使用。</p> <p>2月8日部品が外れ、使用を一時中止した。12日に修理し、使用可能となる。</p> <p>3月 移乗介助に2回 排泄介助に4回 使用</p> <p>3月4日にブレーキのストッパーの効きが悪いため使用を中止した。また同月に機器の部品外れを発見した為、修理及びメーカーに確認するまで使用を一時中止した。</p> <p>3月末に修理を依頼。</p> <p>2月3月については機器の不具合があり、使用を控えたことが多かったが、それ以外の時は入浴日などで回数が少ない日もあるが、ほぼ毎日使用している状況です。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>トイレでの立位が困難な方でもトイレでの排泄が行えるようになった。</p> <p>2人介助でなければできない人も常時2名職員がいる必要がなくなった。</p> <p>トイレ及びポータブルトイレでの座位が保てる。</p> <p>小回りがきくので、狭いスペースでもスムーズに方向転換できる。</p> <p>職員が抱える必要がないので、腰痛予防にも役立っている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社 安里 )  
 事業所名 (東海橋苑グループホーム東起3号館)  
 サービス種別 ((予防)認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット		Hug L1-01(S)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
令和元年11月5日	1台	令和元年11月5日	令和 年 月 日から	令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】            特定の入居者様に移乗時の際、毎回使用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】            職員も異常の際とても楽に移乗することができ腰の負担もほとんどなく好評。入居者様も特に問題なく安心して使用して頂いている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人愛知県厚生事業団 )

事業所名 ( 愛厚ホーム瀬戸苑 )

サービス種別 (介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		Hug L1-01 (FUJI)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月15日	1台	令和2年1月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>ユニットフロアの入居者様2名を対象者として使用している。  対象者の選定基準としては、主に、下肢の筋力低下が著しい方、トイレでの排泄介助の場面で介助者が2名必要となってしまう方としている。  2名ともトイレでの移乗介助に使用しているが、トイレの空間が狭い為、車椅子から Hug への乗り換えはトイレの入り口で行い、車椅子はトイレ前の廊下に置いて使用している。  1月17日に納品されたところで、Hug を初めて触る職員もいたことから、現在は、介護職員と入居者様が Hug に慣れることを目的として、2名の介護職員で移乗介助している。  徐々に介護員が1人で Hug を使用し移乗介助できるように計画している。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>目標としては「入居者様の負担を減らし、安心・安全・安楽な移乗ができる」としている。  安心・安全・安楽に移乗でき、事故防止ができ、職員の腰痛予防にも繋がることを目指して計画をたて、実行中。まだ効果としては表れていないのが現状で、今後も継続して、計画通り実施していく。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 愛生館 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム ひまわり )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助サポート		H u g L1-01 (S) ハグ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月7日	1	令和元年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護従業員と機能訓練指導員は、操作が安全に行えるよう勉強会を開催した。</li> <li>・事故の無いよう操作できるようにマニュアルを作成した。</li> <li>・介護ロボット利用推進チームによる、利用対象者の洗い出しを実施。</li> <li>・利用者を選定し、その方の所属ユニットの介護従業員のトレーニングを繰り返し実施した。</li> <li>・本格導入は、令和元年度12月からとなった。</li> <li>・比較的体重の重い方、腕力で取手を握られ、ロボット移乗に恐怖心を抱かない方3名の移乗に利用をしている。</li> <li>・ベッドから車いすへの移乗、車いすからトイレへの移乗に利用している。</li> <li>・H u gを利用し、利用者を介護士が持ち上げるという動作をしないような取り組みを行っている。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護士が直接持ち上げないことから、腰痛予防対策に効果を発揮している。</li> <li>・介護者の負担軽減が行われている。</li> <li>・入居者も自分の足で立つ(完全に立たないが)、足の裏に力を入れる等の動作が行えるということで、機能の維持向上に役立っている。</li> <li>・重い方を介助しなければならないという介護士の精神的負担も軽減した。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 愛生館 )  
 事業所名 ( ひまわり・安城 )  
 サービス種別 ( 老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		HugL1-01(S) (ハグ)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年11月21日	1	令和1年11月21日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>月2ユニット対象者1名に11月下旬より使用中。月末で4ヶ月経過するが、従業員も操作方法に慣れ、安全に使用している。</p> <p>主に、ベッドから車椅子への物乗、トイレ介助、入浴介助で使用している。</p> <p>3月上旬より、お試しで雪1ユニットで対象者を設け、必要であればどうかの判断をしている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>導入した当初は、従業員による物乗の方が速く、使用する人と使用しない人がいたが、現在は、速さよりも、従業員の身体への負担の軽減を最優先に使用されている。</p> <p>また、従業員だけではなく、実際に使用されている入居者も、「安心する」「身体が痛くない」「従業員に迷惑をかけるなくて良い」等、満足された声を頂いている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。



## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名(社会福祉法人なごや福祉施設協会 )  
 事業所名(特別養護老人ホーム なごやかハウス丸池)  
 サービス種別(介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助機器(非装着型)		離床アシストロボット リショーネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月26日	1台	令和元年9月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>●対象ご利用者情報</p> <p>①要介護度5 導入日から1月18日まで使用。        ベッド車椅子間の移乗介助において職員二人でバスタオルを使用して抱え上げて移乗介助を行っていた。皮膚状態が非常に弱く、移乗介助時にかかる負荷が起因で発生していると思われる内出血や皮膚剥離が発生していた方。</p> <p>②要介護度5 1月21日から現在使用中。        ベッド車椅子間の移乗介助において職員二人で移乗用ボードを使用して介助を行っていた方。</p> <p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>●①の方については、導入後移乗介助を起因とした内出血や皮膚剥離は発生しておらず、期待していた効果そのまま表れた。怪我がなかったこともそうだが、「介助時の苦痛表情がなくなった」という意見もあり、ご利用者の身体的負担のみならず精神的負担の軽減につながっているものと考え。また従前の移乗介助において職員は「怪我をさせないように」とかなり気を遣って介助していたが、導入後は抱えるよりも安心して介助ができるようになった。</p> <p>●アンケートの「職員の業務負担」に関する質問では、使用した職員13名のうち10名が「軽減した」と回答(3名は「わからない」)。職員二人での移乗介助が一人でできるようになったため、その分他のご利用者の対応に時間を割くことができた。</p> <p>●アンケート「職員の腰部への負担」に関する質問では、使用した職員(13名)全員が「身体的負担が軽減した」と回答。職員の腰痛予防にも寄与している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人生寿会 )  
 事業所名 (日進老人保健施設 )  
 サービス種別 (介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		H u g L 1 - 0 1 ( S )	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	1	令和元年 11 月 27 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入以降、まずは全介護職員、全看護職員、全リハビリ職員に問題なく使用できるように介護主任より指導、周知し体験をして導入いたしました。</p> <p>介護職とリハビリ職とで対象利用者の選定を行い、理解ができる利用者さんへも体験してもらいました。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>腰痛予防委員会の中で対象の利用者を検討し、本人、家族への事前説明を行い、慎重に活用を開始している。</p> <p>小回りがきいて、使いやすいため職員の抵抗もなく、積極的に利用できている。3名の利用者に活用し始め、その内の1名の利用者にはリハビリ効果がみられ、立位が自己にて行なうことが可能になったケースもみられている。主にベッドから車椅子への移乗で活用している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人 生寿会 )

事業所名 (介護老人保健施設ごきその杜 )

サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援		移乗サポートロボット Hug L1 (S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 22 日	1	令和元年 9 月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴時の下半身麻痺で立位が困難な利用者に対し、ズボンやパンツの着脱や臀部の処置の際に使用している</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大柄な利用者を抱えなくてよくなったので、職員の体の負担が減った。</li> <li>3人介助で対応していた作業が介護ロボットで抱える人の代わりができるため、2人介助でできるようになり、作業効率が上がった。</li> <li>今まで抱えて対応していた利用者の臀部の傷をしっかりと見ることができるようになった。</li> <li>使用した利用者から「楽だった」という感想の声をいただいた。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人光慈会 )

事業所名 (介護老人保健施設かりや )

サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		移乗サポートロボット ハグ Hug L1-01(S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月18日	2台	令和2年11月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>・納入時、メーカー主催の説明会及び体験会を職員に対しを実施。 介護職員中心に、リハビリ、ケアマネ、看護師も参加した。</p> <p>・各フロアで気軽に職員が使用できるよう2フロアそれぞれに1台を配置。オープンスペースに保管し、主に排せつ介助時やオムツ交換時に使用。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>従来の移乗ロボットは大きかったため保管場所を工面する必要があり、導入に二の足を踏んでいた。今回のHugはコンパクトありながら使いやすく、介護職員の腰への負担軽減につながった。</p> <p>職場の労働安全面に大きく貢献できたことをアピールできた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人光慈会 )  
 事業所名 ( 知立老人保健施設 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		移乗サポートロボット ハグ Hug L1-01(S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 14 日	2 台	令和 2 年 11 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>・納入時、メーカー主催の説明会及び体験会を職員に対しを実施。          介護職員中心に、リハビリ、ケアマネ、看護師も参加した。</p> <p>・各フロアで気軽に職員が使用できるよう2フロアそれぞれに1台を配置。オープンスペースに保管し、主に排せつ介助時やオムツ交換時に使用。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>従来の移乗ロボットは大きかったため保管場所を工面する必要があり、導入に二の足を踏んでいた。今回の Hug はコンパクトありながら使いやすく、介護職員の腰への負担軽減につながった。</p> <p>職場の労働安全面に大きく貢献できたことをアピールできた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 大同福祉会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同)  
 サービス種別 (介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Edge	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 27日	1台	令和 元年 9月 27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、夜間を通して使用。</li> <li>・腰痛持ちの3名の職員が主に使用。</li> <li>・ベッドから車いすへの移乗、ベッド上での体位交換等、腰に負担がかかる「中腰」での作業時に使用。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッスルスーツは「中腰」での作業を補助する効果があり、腰に負担がかかる「中腰」での作業の負担が軽減されたため、マッスルスーツを使用するようになってから、職員が腰痛を訴えることが少なくなった。</li> <li>・マッスルスーツを使用している職員に、マッスルスーツを使用するようになって変わったことについて聞き取りを行ったところ、「終業後腰が痛むことが少なくなった」「中腰での作業が以前より楽にでき、疲れが減った」「以前より早くおむつ交換が終わるようになった」等の感想が出た。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人慈雲福祉会 )

事業所名 ( 特別養護老人ホームウエルコートみづほ )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストロボット リショーン Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月24日	4台	令和元年9月24日	年 月 日から 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

昼間・夜間ともに使用。

要介護度4～5の入所者を対象にしている。

床走行リフト2人介助にて移乗していた方、起立性低血圧のある方を対象に使用。

移乗時の負担軽減により離床時間を検討し、活動量が増加。

入所者・介護者の身体的負担軽減につながっている。

使用は24時間ベッドか車いすとして使用している。

## 【介護ロボットの導入効果】

導入直後は操作に戸惑うこともあったが、動作確認をすることにより安全に使えるようになってきている。また充電式であるため、ベッドから車いすに分離したあとでも離床時間が確保される。3～4時間起きていることも可能。そのため体調によるが活動量が増えた方が見え、精神的にサポートできている。

吊り下げリフトでは身体的に負担がかかることもあったが、平行移動であるために筋緊張の緩和につながっている。また、介護者は身体的に腰痛予防につながっている。対象者によっては互いに移乗時の負担が軽減できている。便利・使いやすい・移乗が安全と高い評価ある。今後アンケートや事故に関する統計を実施していく。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 福寿園 )  
事業所名 ( 特別養護老人ホーム ひまわり邸 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗介護		離床アシストロボット リショナー Plus		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
令和元年 10月 16日	1台	令和元年 10月 16日	年 月 日から	年 月 日まで
<b>【介護ロボットの使用状況】</b> 重度の入居者のベッドからの移乗介助を行わずに離床した状態になり、共同スペースや入浴へ移動することができる。				
<b>【介護ロボットの導入効果】</b> 重度の入居者の移乗介助を持ち上げたりすることなく、離床状態と同じ状況ができ、共同スペースや入浴の移動がスムーズに行えるようになりました。入居者の移乗介助に対しての負担や転落のリスクの軽減につながるとともに、職員の介護負担の軽減にもつながっています。				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。



## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 福寿園 )

事業所名 ( 特別養護老人ホームひまわりの街 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		離床アシストロボット リショーン Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月16日	1台	令和元年10月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>重度の入居者のベッドからの移乗介助を行わずに離床した状態になり、共同スペースや入浴へ移動することができる</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>重度の入居者の移乗介助を持ち上げたりすることなく、離床状態と同じ状況ができ共同スペースや入浴の移動がスムーズに行えるようになりました。入居者の移乗介助に対しての負担や転落のリスクの軽減につながるとともに、職員の介護負担の軽減にもつながっています。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 観寿々会)

事業所名 (特別養護老人ホーム ヴェルバレー)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		移乗サポートロボット Hug L1-01 (s)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月1日	1	令和 年 月 日	令和元年12月1日から令和4年11月30日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすやベッドからの移乗時に使用することにより、利用者の残存機能を活かし、無理なく、安全に移乗ができるようにしてゆく。また、職員に関しても、腰痛予防、業務の効率化・軽減につながり、安心してケアができるように職場環境の改善にもつなげてゆく。</li> <li>利用者個々の状態に合わせ、アセスメントして、使用が可能な方のピックアップができ、利用者への説明と安全な使用ができるようにする。</li> <li>→現在5名の利用者を選定し、実際に使用できている。利用者への説明と同意をとり無理なく使用できている。</li> <li>・利用者の体を持ち上げる移乗介助の中に導入をすることで、職員の腰痛予防を図る。機器を導入することでの業務の効率化・軽減を図り、働き方の改革につなげる。</li> <li>→2名介助をしていた利用者対応が、1名での介助ができるようになり職員の配置と業務の効率化ができた。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立位が不安定な方に対して機器を導入することで、利用者の利用者の立ち上がりの補助、移乗動作を安心してできるようになった。また、着座センサーがあるため、音でのアラートがあり着座の認識をすることができる。職員の身体的負担の軽減と腰痛発生予防が図れた。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。